

# 仰ぎて聖し わが学び舎

<https://hakubac.sakura.ne.jp/>

## 白馬の魅力 ～10/20校長講話から(抜粋)～

今日の校長講話ですが、「白馬の魅力」というものについて考えてみたいと思います。みなさんは、「白馬の魅力って何？」と訊かれたら、なんと答えますか？おそらく多くの方が「白馬の自然」と答えるでしょう。圧倒的な山々の美しさ、自然の素晴らしさ、パウダースノー…。他に挙げるとしたら、どんなことを思いますか？

校長先生が白馬中に赴任した時、「白馬中って素敵な学校だなあ」と感じました。白馬中には、いろんな生徒がいるからです。ずっと白馬村にいる人、県外から来た人、さらに、海外にルーツがある人もたくさんいます。目の色や髪の色が違うみなさんがこの白馬中に集まって、仲良く、そして気持ちを優しく生活しています。「グローバルな学校で素敵だなあ」と思っています。

そのような「白馬の多様性」が、大変魅力的だなあと思っています。ある方から聞いた話ですが、海外から白馬村に移り住んでいるある方は、日本のどこに住むかは決めていなかったのですが、白馬村駅で1時間ほどいる間に白馬村に住むことを決めたそうです。「白馬村には多様性がある」と感じたことが決め手になったそうです。

さて、海外から来て移り住むようになった住人の割合ですが、白馬村は全国と比較しても圧倒的に高い数値になっています(図1)。長野県内で海外から移り住んだ住民の割合が5%を超えている自治体は4つありますが、その中でも白馬村はダントツです(図2)。

次に、白馬村の中だけの人口の変化を見てみると、自然増減数(生まれた人数－亡くなった人数)や他県市町村への移住によって、この5年間でおよそ500人減っていますが、海外から移り住んだ方が1417人いますので、村全体の人口は減ってはいません。

ここで、ふと思うのです。日本中にいろんな都市や街がある中で、海外から移住してきた多くの方は、なぜ白馬を選んだのでしょうか。また、海外から移り住んだ皆さんが今、白馬でどんな生活をしていて、どんなことを感じているのでしょうか。そして、白馬の未来に望んでいることは何なのでしょう。多様な人々が共生する白馬ですから、そういうことを聞く機会を作りたいと思いました。

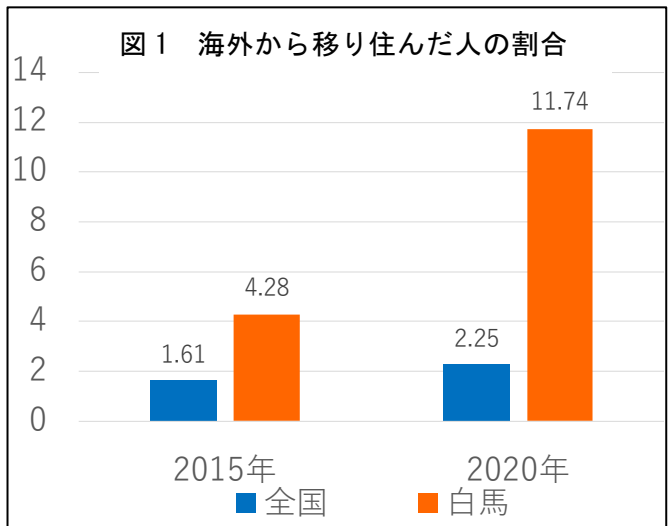


図2 海外から移り住んだ人の割合

(県内5%以上の市町村)

- |   |       |        |
|---|-------|--------|
| 1 | 白馬村   | 11.74% |
| 2 | 小谷村   | 6.95%  |
| 3 | 南牧村   | 6.87%  |
| 4 | 野沢温泉村 | 6.81%  |

(2019年データ)

そこで、「白馬国際フォーラム」を11月12日に行います。内容はシンポジウム(全校)、小グループによる座談会(2、3年生)などです。小グループによる座談会では、ゲスト一人に対して生徒6人くらいで質問をしたり話を聞いたりします。ゲストは海外から白馬に移り住んだ方々です。例えば、HIBAの会という白馬で起業をした海外の方々の会などから20名ほど来ていただく予定です。2、3年生は全員が一人ずつ質問をして、みなさんが疑問に思っていることやゲストがどのように考えているかを聞く機会にします。

この「白馬国際フォーラム」を行うにあたり、実行委員を生徒の皆さんの中から20名ほど募集します。仕事の内容は、シンポジウムのアシスタントや座談会の進行などです。英語が得意な人やこの企画に興味がある皆さんは、ぜひ積極的に申し出てもらえたらと思います。

この機会に、海外から白馬に移り住んだ皆さんが、なぜ白馬を選んだのか。その前までどこでどんな生活をしていたのか。移り住むきっかけとなったのは何だったのかといった、過去のこと。そして今、何を思い、どんな生活をしているのか。またどんな課題を感じているのか。さらに未来に向けてどんなことを考えているのか。そういうことをやりとりすることができたらなあと考えています。

グローバルな白馬です。世界とのつながりの中で、改めてこの白馬の魅力やよさを感じながら白馬国際フォーラムにつなげ、将来の白馬を考えてほしいと願い、校長講話とします。

## 学校生活の様子から



～新生徒会発足に向けて、各候補者の教室訪問が行われています～



～10/19 2学年「食育の授業」より 信州サーモンについて生産者の方からお話を伺いました～